

事前評価個表

整理番号	15
------	----

地域(地区)名	紀中 <small>きちゆう</small>	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	和歌山県	対象市町村	有田市ほか10市町 <small>ありだし</small>
事業実施期間	H28 ~ H32 (5年間)	事業実施主体	市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、和歌山県の中央部に位置している。</p> <p>本地区の総面積117千haのうち、森林面積は84千ha（森林率72%）、対象民有林は82千ha（森林全体の97%）、うちスギ・ヒノキを主体とする人工林は46千ha（人工林率56%）となっており、和歌山県の人工林率61%を僅かに下回る状況となっている。</p> <p>作業道密度は5.39m/haと他の地区に比べて高く、本地区内の森林組合及び林業事業者は積極的に低コスト施業に取り組んでいるが、森林所有面積が5ha未満の零細所有者が80%を占めていることから施業の集約化が進まず、森林整備の支障となっており、森林の多面的機能が十分に発揮されていない状況にある。</p> <p>このため、森林境界の明確化や現況等の情報整備、森林所有者への情報提供等による集約化を促進するとともに、本事業により造林未済地の防止を図るための人工造林や、間伐を中心とした森林整備を積極的に実施し、森林の持つ多面的機能の発揮を図る。</p>
事業内容	<p>森林整備：3,728ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>総事業費：1,857,244千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 7.26 (総便益(B) = 18,585,729千円、総費用(C) = 2,561,720千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等からみて事業実施の必要性が高い。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林の有する多面的機能の高度発揮や、搬出間伐による木材生産量の増加を図ることで地域の木材産業の振興を図ることができると考えられる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 和歌山県

地域(地区)名: 紀中<sup>きちゅう</sup>

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	3,615,039	
	流域貯水便益	1,259,844	
	水質浄化便益	3,521,407	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,086,953	
	土砂崩壊防止便益	63,005	
環境保全便益	炭素固定便益	4,955,402	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,084,079	
総 便 益 (B)		18,585,729	
総 費 用 (C)		2,561,720	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,585,729}{2,561,720} = 7.26$		

# 森林環境保全整備事業計画 【紀中地域計画対象地域図】



対象市町村  
有田市・湯浅町・広川町・有田川町・御坊市・美浜町・  
日高町・由良町・印南町・みなへ町・日高川町（11市町）

凡例	例
計画区界	
事業区域	
森林整備	

